

# 緑区子育てサポート通信 第49号

令和5年6月発行／横浜子育てサポートシステム緑区支部

若葉が初夏の日差しに輝く季節となりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか？  
日ごろ横浜子育てサポートシステムの活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変更となりました。マスクの着用は個人の判断にお任せとなりますが、引き続き感染対策に気を付けながら会員間で安全な活動を心がけていただきますようお願いいたします。

この度、令和5年7月1日から横浜子育てサポートシステムがより身近な子育て支援となるように変わります。引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

～次世代を共に育み、安心して子育てできるまち 横浜へ～

## 令和5年7月1日より以下の3点が始まります！

### 利用会員

サポート利用料が1時間800円から500円に改定

平日7時から19時の場合、それ以外は100円増し

### 提供会員

受取額UP(1,000円)に！

提供会員へは市から活動1時間につき  
給付金(500円)を支給+利用料

援助活動報告書が  
新しくなります

新事業説明会開催します！ ご参加ください。詳細は中面に→  
給付金手続きの方法や援助活動報告書の記入について等

### 利用会員

令和5年4月1日以降出生のお子さんがある利用・両方会員に  
子サポ de あずかりおためし券(8時間分)を配布

## 新事業についての説明会(提供・両方会員交流会)

7月1日からの新事業スタート前に、変更点や、報告書の書き方、給付金の手続きについてなどみなさんと一緒に確認したく、以下の日程で説明会(1時間程度)を行います。

みなさま奮ってご参加ください。

またこの機会にお茶でも飲みながら日頃のサポートの様子やご意見ご要望等もお聞かせください。

- ①6/17(土) 13:30~15:00    ③6/27(火) 10:30~12:00  
②6/21(水) 10:30~12:00    ④6/28(水) 13:30~15:00

場 所 いっぽ(2階研修室)

持ち物 同封の新事業についての案内・請求の手引き他

予 約 不要(参加できる日が決まっている方はご連絡ください)

※説明会開催日以外にも随時対応します。緑区支部(045-982-3521)までお問い合わせください。

## 令和4年度緑区支部報告

身近に頼れる人とのつながりを求めて入会説明会に参加される方、会員登録される方が増えてきています。しかしそれを支える提供・両方会員がいないとこの制度は成り立ちません。より多くの方にこの活動に参加してもらいたいと、小学校・中学校でのサポート事業周知のチラシ配布やオンラインでの入会説明会を行いました。新しく29名の提供・両方会員が仲間に加わって活動を始めています。

令和5年度は新制度も始まりサポート活動にますます関心が寄せられています。提供会員になるための研修を10月26~28日

日にいっぽで開催します。お近くにサポート活動に興味のある方がいましたら是非ご紹介ください。

活動内容は保育園、学童保育、習い事への送迎の利用が約43%と多いです。またお子さんを預ける第一歩として「いっぽのひろば」での預かりが増えていきます(令和3年度56件→145件)。お子さんを優しく見守ってくださる提供・両方会員さんと出会うきっかけになればと願っています。

援助活動内容別件数割合4,467件

送迎と預かり

23%

送迎のみ

43%

預かりのみ

34%

## 職場復帰するママのための入会説明会

2月25日(土)の入会説明会に、利用会員で職場復帰した先輩ママ2名をお招きし、体験談をお聞きしました。先輩ママのお話を一部ご紹介します。

♥ Iさん：2歳男の子と4ヶ月の女の子のママ

1人目の子が7ヶ月の時に職場復帰。8:30~15:00の病院勤務。通勤に片道1時間半かかり体力的にハードなので睡眠時間の確保を大切にしています。保育園からの呼び出しなど心配でしたが、自分の職場の理解もあり、テレワークの多かったパートナーとスケジュール調整し、協力してきました。お母さんは不安だと思いますが子どもは意外と大丈夫。周りを頼って頑張りすぎず自分らしく自分を大事にしてください。

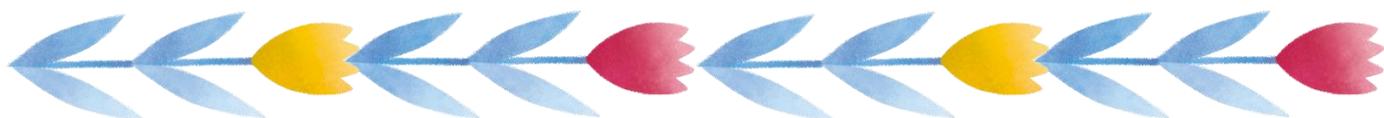
提供会員さんは地域の事や料理の事も教えてもらったりできる頼れる先輩ママさんです。

♥ Kさん：5歳男の子と3歳女の子のママ

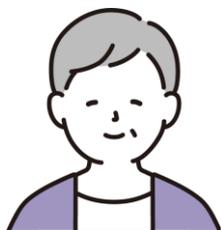
2人目の子が1才の時、新たに営業事務の仕事に就きました。子どもの体調不良時に職場の理解を得られず、大変だったので1年後思い切って転職し今は時短で働いています。夜20時から子どもたちの世話(お風呂など)をパートナーに任せ、自分は翌日の夕食作りをし、21時に子どもたちと寝るようにしています。

預かり保育のお迎えが自分の子どもが一番最後でかわいそうかなと思ったけれど、お母さんが輝いて誇りを持っていれば大丈夫です。提供会員さんは自分の親と同じ世代で、孫のように子どもを見てくれる素敵な方々です。

\*お二人の体験談はとてモリアルで、これから復帰する皆さんにとってイメージができ「頑張ろう!」と勇気をもらえました。参加者からサポートの利用の仕方の質問も出て、「もっと早く利用すればよかった」「自分にも子どもにも利用して良かった」と嬉しいお言葉をいただきました。



### サポート活動の思い出



自分で一歩踏み出してみようと勇気を出し入会して16年、仕事や都合で出来ない時もありましたが、これまでいろいろなお子さんとの出会いがありました。

3カ月の双子の男のお子さんを預かったときは、3~4ヶ月という短い期間でしたが、ハイハイができるまでの成長を見ることができたので嬉しかったです。

いろいろなお子さんを預かるたびに、緊張あり、楽しさあり、お母さんに無事に引き渡せた時にはホッとしていました。

今まで預かりができたのもサポートのスタッフの皆さんが段取り良く見守ってくださったからだと感謝しています。これからもサポートの皆さん頑張ってください。



いつも優しくおらかな気持ちで、たくさんのお子さんたちを見ていただいたSさん出張集団保育のお手伝いにも協力していただきました。

平成18年からこれまで長い間お世話になりありがとうございました。

